

どんぐり山行通信 第171号

2022年8月20日(土)

曇り
参加者 19名

鶴ヶ島



どんぐり山行会

相馬山(そうまさん 1,411m 榛名)

連日の猛暑、しかもコロナ感染者数は増加の一途。そんななか、今日は曇りがちながら幸い暑さは一息ついている。バスは渋川 IC であり、県道 33 号線を西に向かい伊香保経由で県営松之沢グランドの駐車場に到着。すこし小雨がパラついてはいたが、ザックカバーだけの対応でいざ出発。今日はジジターの西川よしこさんを含む参加者 19 名で、リーダーは竹口さん◆沼ノ原の草原に入ると、さっそくユウスゲやコオニユリなどが出迎えてくれた。そのほかにもこの時期ならでの草花が次々を現れ、メンバーの話も弾んでいる。やがて疎林体に入り外輪山の尾根道と合流する磨墨(するす)峠に出る。ここには休憩所があり一休み◆峠から相馬山に向かう尾根道を進むと、雨上がりで湿度が急に高くなり長い階段などもあって汗が止まらない。しばらくして赤い鳥居にたどり着く。ここは県道のヤセオネ峠へ下る道と山頂へ向かう道の分岐点でもあるため、登頂組 14 名と下山組 5 名に分かれ、登頂組は山頂を目指すことになった。周辺はレンゲショウマが花盛り◆山頂組はいきなり急峻な岩を長い鉄梯子を使って登るなど、しばらくは急斜面を強いられたが、やがて緩やかになって山頂に到着。ガスで展望はなかったが、黒髪山神社奥宮の祠と石像のまわりにはいろいろな花が咲いていた。白砂をまいたようなカラマツソウ、黒くて少しいかついオオシロソウ、赤ら顔のフシグロセンノウなどにぎやかだ◆磨墨峠まで戻り、峠から磨墨岩を目指す。峠近くに「スルス岩 3 分」と書かれた標識があったが、3 分ではとても無理だ。岩の頂まで鉄梯子で登る所もある。岩の頂上まで登ると、そこには大展望が待っていた。眼下には榛名富士をはじめ湖周辺が一望でき、岩の先端には榛名富士を背負うかのように“からす天狗”の石像が安置されていた◆バスの待つ駐車場まで引き返し、昼食とする。隣接のサッカー場では小学生の大会らしい。昼食を済ませ、キオンが群生する湖畔の道を「ゆうすげの湯」までバスで移動。希望者は 1 時間ほど温泉で汗を流した。今回は昨年 11 月にづく榛名山周辺の山行であったが、暑さ控えめの中、「ゆうすげの湯」の由来となったユウスゲや、去り行く夏の草花にたくさん出会え、いい山旅であった。(南雲記)



北市民セ 6:00→駒寄 PA7:00→渋川 IC7:15→松之沢駐車場 7:55 着出発 8:10→磨墨(するす)峠 8:40→鳥居 8:50→山頂 9:20 着 9:50 発→磨墨岩 11:05→松之沢駐車場 11:40(昼食)バス発 12:05→ゆうすげの湯 12:20 着(入浴) 13:20 発→渋川 IC14:15→上里 SA14:40→鶴ヶ島 IC15:30→北市民セ 15:50@4000(入浴料込み)